

一般競争入札に関する質問・回答書

平成30年4月24日

入札参加希望者 殿

地方独立行政法人 宮城県立病院機構
 理事長 西 條 茂
 （法人印省略）
 担当：本部事務局企画経営課
 電話：022-796-1044 FAX：022-796-1046
 E-mail：honbu-keiei@miyagi-pho.jp

調達案件名：宮城県立精神医療センター医療情報システム更新		
No	質 問 事 項	回 答
1	資料3-2-1 2-4 基本要件・保守要件 2-4-1-21 【MS製品ライセンス管理を容易とするため、システムに接続された全端末から、以下のライセンス情報が自動的にサーバに収集され、ライセンスの利用者件数が集計できる「ライセンス管理ツール」を提供すること】とございますが、SKYSEAなどの資産管理が可能なソフトウェア製品を想定でしょうか。	お見込みの通りです。
2	資料3-2-1 2-4 基本要件・保守要件 2-4-1-22 【データ移行費用を含めこと。現行システムからのデータ抽出費用も含めること。】とございますが、現行システムからのデータ抽出費用の取り扱いについて、お教えてください。	応札者が現行システムのベンダー等から見積りを取得し、入札価格に含めて下さい。また、現行システムのベンダーについては、資料3-2-2に記載の通りとなっています。
3	資料3-2-1 2-4 基本要件・保守要件 2-4-1-16 【現行の電子カルテシステム・オーダーリングシステム・看護支援システムを参照できる仕組みを構築すること。（現行の電子カルテシステム・オーダーリングシステム・看護支援システムのデータを完全互換移行できる場合を除く。）】とございますが、現行の電子カルテシステムのクライアントへの対応OSをお教えてください。	現行の電子カルテシステムは亀田医療情報株式会社製「KAI」であり、クライアントの対応OSはWindows 7までです。なお、端末については4-1ハードウェア要件（4-1-1-17）に示すとおり、最新のOSでの導入を想定のため、現行の電子カルテシステムを最新OS（Windows10）に対応させる費用も入札金額に含みます。
4	資料3-3 3-1 電子カルテシステム（リハビリシステム含む） 3-1-1-1-18 【臨床研究入院の患者を識別でき、医事会計システムと連動できること。】とございますが、臨床研究入院と治験との違いについてお教えてください。	治験と同意義です。
5	資料3-3 3-1 電子カルテシステム（リハビリシステム含む） 3-1-1-5-10 【一度入力された情報は、再度入力する必要の無い様、システムを超えて連携できること。】とございますが、具体的な動作の例をお示しくありませんでしょうか。	電子カルテシステムと看護支援システム間で患者基本情報の連携がなされること等を想定しています。
6	資料3-3 3-1 電子カルテシステム（リハビリシステム含む） 3-1-5-4-3 【複数枚数必要な書類は、自動で宛先を変更して印字されること。】とございますが、自動で変更する「宛先」とは何を指しますでしょうか。	患者様と紹介元医療機関に同一の文書を送付する場合、患者氏名及び紹介元医療機関名が自動で選択されること等を指します。

No	質 問 事 項	回 答
7	資料3-3 3-1 電子カルテシステム（リハビリシステム含む） 3-1-4-7-2 【作業療法記録を携帯端末を使用して、作業療法室等の現場での入力が可能であること。】とございますが、携帯端末とは軽量のノートパソコンも含むで、よろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
8	資料3-3 3-2看護支援システム 3-2-2-3-15 【看護計画の雛型を作成しシステムに登録しておく、計画作成時に適用することができること。】とございますが、「雛形」の示す意味をお教えてくださいませんか。また具体的な動作の例をお示しくださいませんかでしょうか。	標準看護計画や病院独自に作成した形式の雛形等を指し、その雛形を使った動作を想定しています。
9	資料3-3 3-2看護支援システム 3-2-3-7-5-5 【SOAP方式では、次の項目を入力できること→・看護師サイン】につきまして、サインはシステムとして記載者が誰なのかが分かるデータが残ればよろしいでしょうか。	可とします。
10	資料3-3 3-2看護支援システム 3-2-6-4-1 【入院登録時、法的に必要な事項が漏れなく記入できる仕組みを有すること。】とございますが、「事項」とは必要な書類等の認識でよろしいでしょうか。	「事項」とは法的に必要な記載項目を指します。
11	資料3-3 3-3 オーダリングシステム 3-3-1-4-2 【患者一覧として、患者ID・患者漢字氏名・患者かな氏名・性別・年齢・予約時間・受付時間・予約時・住所・電話番号・コメントの有無を表示できること。】とございますが、「予約時」とは何を意味しますでしょうか。お教えてください。	本要件から「予約時」は削除し、【患者一覧として、患者ID・患者漢字氏名・患者かな氏名・性別・年齢・予約時間・受付時間・住所・電話番号・コメントの有無を表示できること。】と変更します。
12	資料3-3 3-3 オーダリングシステム 3-3-1-11-16 【オーダ受付画面に表示する対象指示を変更することができること。】とございますが、こちらは、「指示の内容を変更する」ということでよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。ただし、事後に指示者の承認を得られる機能が必要です。
13	資料3-3 3-3 オーダリングシステム 3-3-2-1-10 【処方数量が不一致の場合にアラート通知できること。】とございますが、「処方数量の不一致」とはどのような意味でしょうか。具体的な例をお示しくださいませんかでしょうか。	オーダリングシステムと医事会計システム間の処方数量の不一致を意味します。
14	資料3-3 3-3 オーダリングシステム 3-3-11-1-8 【1回のオーダで複数回の食事オーダの登録（変更）ができること。】とございますが、「複数回」とはどのような意味でしょうか。具体的な例をお示しくださいませんかでしょうか。	入院期間中に食止めが発生した際、1回のオーダで食止めと食止め後の食事再開の処理ができることを意味します。
15	資料3-3 3-3 オーダリングシステム 3-3-11-1-17 【選択した食種の構成成分の表示できること。】とございますが、「構成成分」とは、エネルギー量などでよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。

No	質 問 事 項	回 答
16	資料3-3 3-3 オーダリングシステム 3-3-16-3-8 【次の検査について、検査に応じた報告書が作成できること。】につきまして、心理検査の報告書は、著作権が絡むものが多く、著作権が絡む報告書を独自で作成することはできないと理解します。著作権の絡む検査書類に関しては、「著作権を保有する団体より別途貴院にて購入頂いた入力フォームを使用して作成し、そのフォームを電子カルテに登録する」でよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
17	資料3-3 3-3 オーダリングシステム 3-3-23-2-3 【診療行為の過去の実績と、クリティカルパス適用による未来日の計画を同じ画面上で一覧にできること。】とございますが、同じ電子カルテシステム上の別画面で閲覧でもよろしいでしょうか。	可とします。
18	資料3-3 3-3 オーダリングシステム 3-3-24-1-4 【受信したオーダー一覧から任意に受付業務が行えること。また検査種別単位の受付も可能であること。】とございますが、ラベル発行をもって、受付という考えでもよろしいでしょうか。	検体検査・生理検査等の区分で作成されたオーダー一覧から受付ができることを要求しておりますので、ラベル発行をもって受付という考えは認められません。
19	資料3-3 3-10調剤支援システム 3-10-6 仕様書項目【散薬、軟膏剤、水剤監査】につきまして、現在ご利用頂いているシステムでは水剤監査は行っておりませんが、次期システムでの新規導入という想定で宜しいでしょうか。	仕様書項目に記載のとおりです。
20	資料3-3 3-10調剤支援システム 3-10-6-7 散剤瓶、軟膏瓶、水剤瓶等に貼付されているバーコードを読み取り、調剤システムから送信されてくる処方データを確認したうえで、調剤が実施できるようにすること。また軟膏剤、水剤はバーコードの読み取り結果を監査記録紙に印字し発行すること。】とございますが、水剤監査を行う場合、薬品取り揃えの監査で宜しいでしょうか。容量の監査を行うのでしょうか。お教えてください。	「薬品取り揃えの監査」及び「容量の監査」の両方を行います。
21	資料3-3 3-13給食管理システム 3-13-3-9 【クライアント機の台数はノート型パソコン3台構成とし、Excelも3式準備すること。】とございますが、(第6章 システム接続・端末配置)ではノートパソコンの台数は2台となっております。どちらが正しいのでしょうか。お教えてください。	(6-3端末配置一覧参照)のとおり正しい台数は2台ですので、本要件を【クライアント機の台数はノート型パソコン2台構成とし、Excelも2式準備すること。】と変更します。 なお、設置場所については、部署間で変更する場合があります。
22	各システムで全て条件を満たさなければならないのでしょうか。統計機能など別途提案システムに含まれているDWHで対応する等、提案させて頂くシステムを利用して満たすことでもよろしいでしょうか。	落札者選考基準に記載のとおり、必須項目については要求要件を全て満たす必要があり、対応区分がD・Eの場合には失格となります。 統計機能等についてDWHで対応する場合は、提案仕様回答書の対応区分を「C」と回答し、「回答内容」欄に代替策として「DWHで対応」する旨を記載するなどし、当方で求める機能等を提案する別システムで充足する旨を記載してください。